

とも

～岩之入集落で見つけた、ひとなつの暦～



岩之入インターン生
嶋田紬・田中館初音・中美南穂

岩之入情報！

行事	備考
八社宮祭り（4月）	厄払い
道普請（4月）	整備
道普請（7月）	道草刈
※夏の灯（8月お盆）	棚田キャンドル
※お流し会（8月）	流し素麺
敬老会（10～11月）	公会堂
共同年賀（元旦）	新年ご挨拶
さいの神（1月）	どんど焼き
弘法大師祭（2月）	一〇八灯祭り

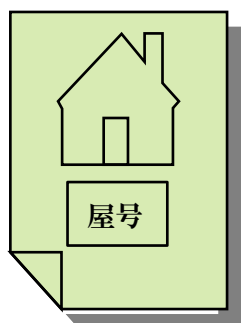
その他

- ・いきいき体操(公民館)
- ・お茶会(お婆ちゃん家)
- ・女子会(お家の庭)

※新しい岩之入の行事になるかも・・・！

～岩之入と長鳥駅～

岩之入集落唯一の公共交通機関である長鳥駅。現在は複線ですが、昔は単線でした。工事前は100軒くらいの家が建っていましたが、複線工事をする過程で、耕地の縮小や家屋の立ち退きをせざる負えなくなり、現在の44軒にまで減ってしまいました。労働者を集めてトンネル工事を行ったため、その間集落内の各家庭では、労働者の食事や寝床の用意をしなければならなかったそうです。



徳 左 衛 門…池田家
三 九 郎…長原家
しちざいえもん…中川家

集落の方々は普段から苗字ではなく屋号で呼び合うため、屋号に慣れていない私達にとって覚えるのが大変でした。

「灯りのともる、まいほ一む」

私たちが切り取りたい岩之入の暦は、
夏の終わりと、秋の始まりの季節。

私たちは、完全なヨソモノでも、土地の人でもない、曖昧な存在。

8月から9月の1ヶ月、日々出会う魅力は、
衣食住がそれぞれ、折り重なっている。

春夏秋冬ではなくとも、
もっとシンプルでいいのかな。

普段はみえない、見逃してしまう
隠れている、恥ずかしくてみせないような
そんなところに、人の姿に。魅力がたくさん溢れている。

そこに灯りをともしたい。

夏と秋がともにある。
ヨソモノだから、出会えた魅力
未完成だからこそ、手を繋げる。
開いたならきっと、お友だちになれる。
これからもずっと、そばにある。

*

ただいまって降り立つ駅だったり、家の灯りのようなぬくもりだったり。人の手のひらを感じられる。誰かがそばに寄り添うような、あたたかさがある。そんな何かをつくってみたい。岩之入集落からいただいた日々の暮らしのしあわせを、“エピソード”という、新しい暦のかたちにしました。

一緒に、岩之入のまちを歩いてみませんか。
五感で触れてほしい出会いが、きっと待っています。

この1ヶ月に込めた暮らしが、
あなたの今と、これまでと、これからを、
繋いでいきますように。